

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月24日	
青森県知事 殿	
提出者 住 所 青森県上北郡おいらせ町中平下長根山1-145 氏 名 大石産業株式会社 八戸工場 工場長 平 賢司 電話番号 0178-56-3112	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大石産業株式会社 八戸工場
事業場の所在地	青森県上北郡おいらせ町中平下長根山1-145
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	他に分類されないパルプ・紙・紙加工製造業（1889）
②事業の規模	生産金額：1,565百万円
③従業員数	35名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別表1をを参照願います。

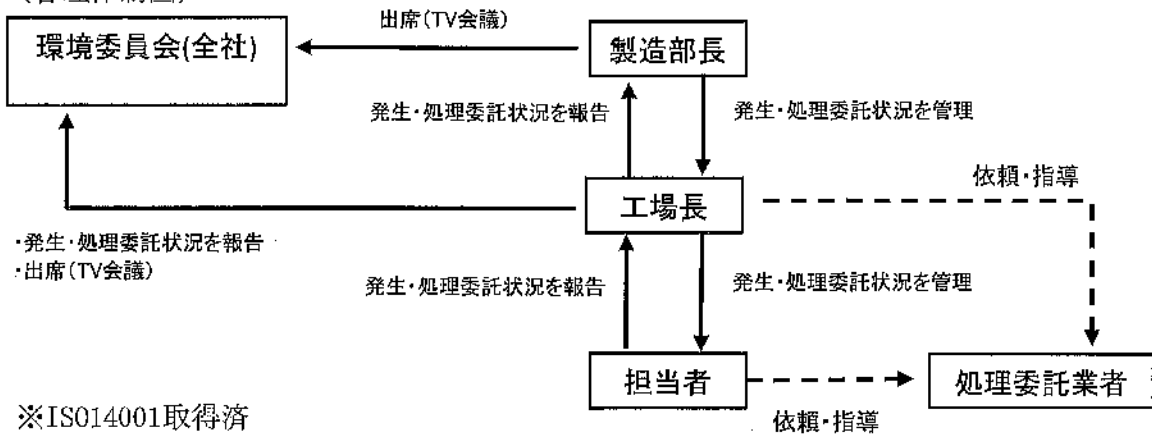
（日本工業規格 A列4番）



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
	排 出 量	5,340.00 t	107.00 t
	(これまでに実施した取組)		
	・別紙2を参照願います。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
	排 出 量	6,668.00 t	156.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・別紙2を参照願います。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・工場内で発生する産業廃棄物については、廃棄物別の廃棄場所を決め、廃棄物の混在がないようにしている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・工場内で発生する廃棄物の廃棄場所への廃棄を継続、徹底する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和 5 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	金属くず	金属くず	木くず
排 出 量	- t	3.80 t	- t	6.80 t

・別紙2を参照願います。

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	金属くず	金属くず	木くず
排 出 量	0.40 t	4.00 t	8.50 t	4.00 t

・別紙2を参照願います。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和 5 年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	-	-	-
排 出 量	- t	- t	- t	- t

・別紙2を参照願います。

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	-	-	-
排 出 量	- t	- t	- t	- t

・別紙2を参照願います。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	4,628.00 t	- t
	(これまでに実施した取組) ・製造品目の切替回数を減少する工程を組み立て、廃棄原料（脱水処理する量）の減少		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	5,779.00 t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・製造品目の切替回数を減少する工程を組み立て、廃棄原料（脱水処理する量）の減少の継続。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	889.00 t	156.00 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処理委託量	889.00 t	156.00 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・別紙4を参照ください。		
※事務処理欄			

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃油	金属くず	金属くず	木くず
全 処 理 委 託 量	0.40 t	4.00 t	8.50 t	4.00 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.40 t	4.00 t	8.50 t	4.00 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
<p>・別紙4を参照ください。</p>				

【目標】				
産業廃棄物の種類	紙くず	-	-	-
全 処 理 委 託 量	- t	- t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
<p>・別紙4を参照ください。</p>				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程

廃棄物の種類	発生・処理工程	備 考
汚泥	製造工程からの残原料・洗いを自社内で脱水処理(中間処理)を行い、水分率70%の汚泥とし、処理業者に委託し、堆肥として再利用。	
廃プラ	原料である古紙中に含まれるプラスチック類を、製造工程にて、原料とプラスチック類とを分離。処理業者に委託し、最終的に、焼却、埋め立て処分。	
金属くず1	薬品類の空き缶。処理業者に委託し、最終的に鉄鋼会社にて、溶融されリサイクルされる。	
金属くず2	原料である古紙をベアラー化している番線類。処理業者に委託し、最終的に鉄鋼会社にて、溶融されリサイクルされる。	
廃油	ポンプ類のオイル交換時に発生。処理業者に委託し、ろ過され、再生油としてリサイクルされる。	
木くず	古紙業者から古紙をパレットに載せて運び、使用後、業者に委託し焼却処分される。	
紙くず	製造工程から出るロス品を業者に回収委託し古紙業者にてリサイクルされる。	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	① 現 状		② 計 画	
	前年度(令和5年度)実績		目 標	
	排出量(t)	これまで実施した取り組み	排出量(t)	今後実施する予定の取り組み
汚泥	5,903	製造品目の切替回数を減少する工程を組み立て廃棄原料の減少の継続。 脱水向上による汚泥水分率減少取り組み	6,668	老朽化配管(原料漏れのある)の更新、及び、切替回数のない工程管理の取り組み。
廃プラ	107	除塵機の最適運転による、プラスチックと原料分の、精度の高い分別。	156	除塵機の最適運転による、プラスチックと原料分の、精度の高い分別。
金属くず1	3.8	薬品の18L缶代替として、コンテナ化及び通い缶の検討。	4	薬品の18L缶代替として、コンテナ化及び通い缶の検討。
金属くず2	0	運搬回数を減少するために前年度分は保管にて、排出回数0。	0	原料ペーラー品の番線類で、現状取り組み無。
廃油	0	適正周期でのオイル交換。	0.4	適正周期でのオイル交換。
木くず	8.1	納入業者への返却。	4	納入業者への返却。
紙くず	0	自社にて再利用。	0	自社にて再利用。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項【現状】

●前年度(令和5年度)実績

単位: t

産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	これまで実施してきた取組
汚泥	712	0	712	0	0	製造品目の切替回数を減少する工程を組み立て 0 廃棄原料の減少の継続。 脱水上による汚泥水分率減少取り組み
廃プラ	107	0	107	0	0	除塵機の最適運転による、プラスチックと原料分の、精度の高い分別。
金属くず ¹	3.8	0	3.8	0	0	薬品の18L缶代替として、コンテナ化及び通い缶の検討。
金属くず ²	0	0	0	0	0	運搬回数を減少するために前年度分は保管にて、排出回数0。
廃油	0	0	0	0	0	適正周期でのオイル交換。
木くず	6.8	0	6.8	0	0	納入業者への返却。
紙くず	0	0	0	0	0	自社にて再利用。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項【計画】

●令和4年度計画

単位:t

産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	これまで実施してきた取組
汚泥	876	0	876	0	0	老朽化配管(原料漏れのある)の更新、及び、切替回数の少ない工程管理の取組み。
廃プラ	128	0	128	0	0	除塵機の最適運転による、プラスチックと原料分の、精度の高い分別。
金属くず1	2	0	2	0	0	薬品の18L缶代替として、コンテナ化及び通い缶の検討。
金属くず2	0		0	0	0	原料ベアラー品の番線類で、現状取り組み無。
廃油	0.4	0	0.4	0	0	適正周期でのオイル交換。
木くず	4	0	4	0	0	納入業者への返却。
紙くず	0	0	0	0	0	自社にて再利用。